

第68回岡山県総合バスケットボール選手権大会 兼第89回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会岡山県代表決定戦

女子決勝

日 時	2022年8月21日(日) 13:30～		
会場名	笠岡総合体育館	(A)コート	
倉敷芸術科学大学	60	$\left. \begin{array}{l} 10 \\ 9 \\ 18 \\ 23 \end{array} \right\} \begin{array}{l} - \\ - \\ - \\ - \end{array} \left. \begin{array}{l} 25 \\ 20 \\ 28 \\ 16 \end{array} \right\}$	89 倉敷翠松高校

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
小林 海輝	31	2		1		1	野瀬 紗奈	4	20		10		1
岩城 みゆ	5	0					丸山 優香	5	0				
今城 未来	7	0					土家 梨愛	6	18	2	5	2	2
永田 夢生	9	10	1	3	1	1	伏見 朋香	7	5	1	1		
河本 徳容	12	0					清水 咲菜	8	0				
大見 あすみ	14	0					島尾 七彩	9	2		1		
古川 裕理	15	12	2	3			鶴田 結和	10	0				
松尾 梨央	17	6	1	1	1		村田 ひな	11	2		1		
池永 琉華	18	0				1	柚木 萌衣	12	0				1
三好 礼紋	20	0					窪薮 理紗	13	9	1	3		
登 翼沙	23	10		5			鈴木 蓮菜	14	0				1
墓野 朱里	24	4		2		3	アイエビドゥン グレイス	15	31		13	5	2
平 朝香	27	9	1	2	2	1	杉原 莓音	16	0				
原 みなみ	32	0					鈴木 柑菜	17	0				1
藤井 明日菜	33	7	2		1		山本 瑠七	18	2		1		
寺地 未来	39	0							0				
合 計		60	21	34	5	7	合 計		89	12	70	7	8

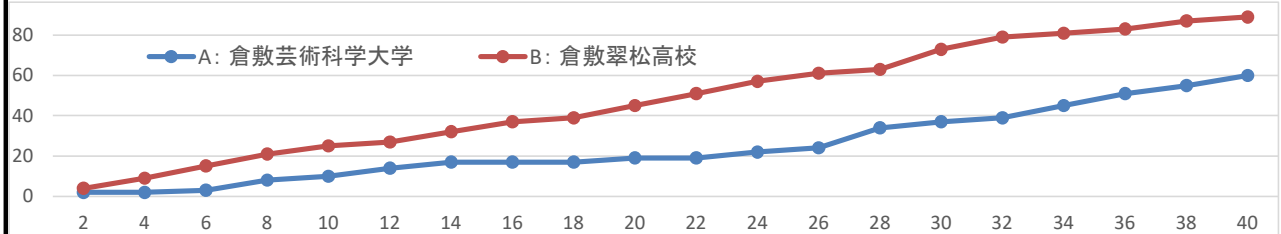
戦 評

決勝戦は倉敷芸術科学大学(一般②)と倉敷翠松高校(U18①)との対戦となった。
 1Q 立ち上がり、翠松が#4の得点で先制する。芸科大も#18からの合わせを#31が確実に決める。翠松はフロントコートからプレッシャーをかけ、芸科大のミス誘いを、奪ったボールを翠松#15を起点に得点を重ね、残り5分まで連続得点し9点のリードを奪う。芸科大は#9がフリースローを1本成功した後、少しずつオフェンスのリズムを取り戻し、#27のジャンプシュート、#9の3ポイントシュートなどで追い上げを見せるが、翠松#15のインサイドブレイクを防ぎきれず、さらに得点差が広がり、芸科大10-25翠松で1Q終了。

2Q 両チームゾーンディフェンスで開始。早々に芸科大#23が連続得点し、良いスタートを切る。一方、翠松も#4のミドルシュートで応戦する。残り6分以降、芸科大のミドルシュートが決まらず、リバウンドも翠松#15に抑えられ、残り3分、芸科大17-39翠松となったところで芸科大のタイムアウト。その後も芸科大は無得点の時間が続き、一方翠松は#15、#6らがチャンスを実ものにし、得点差をさらに広げる。残り6秒で芸科大#9がようやく得点を決め、芸科大19-45翠松で前半を折り返す。

3Q 芸科大はゾーンディフェンスでボールを速攻に繋げるがシュートが決まらず、得点ができない一方で、翠松は#15のインサイド、#6、#13が積極的に奪ったボールを得点につなげ、残り6分で、芸科大19-55翠松と一方的な展開となる。その後、芸科大は#27の3ポイントシュートがようやく決まり、反撃開始。芸科大は#33の連続3ポイントシュート、#24、#27らが得点を重ねていくが、翠松も#4がゾーンを崩した後、確率の高いシュートで相手を寄せ付けない。残り1分を切ったところで芸科大#15の3ポイントシュートが決まるが、翠松も#13、終了間際に#6が3ポイントシュートを決め、さらに差を広げ、芸科大37-73翠松で3Q終了。

4Q 開始早々、芸科大#15がミドルシュートを決める。翠松はパスを回し、24秒を使いながらチャンスをつかみ、#4らがミドルシュートを確実に決めていく。残り7分から芸科大は翠松のマークが甘くなったところで、#15、#17が3ポイントシュートを決める。勢いに乗った芸科大は積極的なオフェンスを試みて追い上げ、残り3分で芸科大55-83翠松となる。その後は翠松のメンバーが変わったところ芸科大がターンオーバーを奪い速攻につなげ差を縮めようとするが、翠松が守り切り、芸科大60-89翠松で、倉敷翠松高校が15年ぶり5回目の優勝を飾った。



第88回岡山県総合バスケットボール選手権大会 兼第98回天皇杯全日本バスケットボール選手権大会岡山県代表決定戦

男子決勝

日 時	2022年8月21日(日) 15:30～		
会場名	笠岡総合体育館	(A)コート	

ナカシマ	70	}	12 — 23 10 — 16 23 — 10 25 — 11	60	ファイサズ岡山
------	----	---	--	----	---------

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
中島 直幸	1	0					奥山 瑛介	7	0				
河野 佑太	2	19	1	6	4	2	中村 駿	77	0				
野村 悠也	3	3			3	3	石原 健一郎	18	11		5	1	4
佐藤 大成	4	0					木岡 裕太	0	7	1	2		
頭山 竜之介	7	4		2			小原 一輝	19	0				
野田 壮一郎	10	9		3	3	4	藤高 竜一	45	2		1		2
高橋 宏典	11	0					谷口 巨将	14	4		1	2	
三原 琉生	13	0					林野 由幸	3	2		1		
渡嘉敷 温人	14	2		1			中垣 俊平	10	0				
杉本 智広	15	0					佐藤 朋信	1	7	1	2		2
本庄 悠真	17	0					難波 遥希	4	0				2
中場 亮汰	22	13	3	1	2	2	中西 祥一朗	6	4		2		4
木村 涼	31	4		2		1	秋岡 和典	13	4		2		2
中島 聡	39	7	1	2		1	岸本 祐也	35	16	2	4	2	3
秀島 嶺次	88	0					三上 祐世	25	3		1	1	
菊池 滉大	99	9	1	1	4	1	大橋 雄太	2	0				
合 計		70	18	36	16	14	合 計		60	12	42	6	19

戦 評

1Q 開始直後、ファイサズ#35がスクリーンからのドライブで得点すると、ナカシマも#22の3ポイントや#31のドライブなどで応戦し、開始3分で7-6と序盤は互角の立ち上がり。しかし開始4分、ファイサズのディフェンスでの好プレーが続く、ナカシマの得点が止まる。残り3分、ファイサズ#0がパスカットから速攻し7-17とするとナカシマはたまたまタイムアウト。しかしタイムアウト明けもファイサズはディフェンスからの速攻を続けて流れは変わらず、10-23と13点差で1Q終了。

2Q 点差を縮めたいナカシマだが、メンバーチェンジをしながらもディフェンスの手を緩めないファイサズに対しナカシマは攻めあぐねる。開始5分、ナカシマ#2のスクリーンからの得点や#39の3ポイントで連続得点するものの、ファイサズはすかさずタイムアウトで流れを断ち切りにかかる。ファイサズは#35がパスカットから速攻で得点すると#14もタフショットを沈めて連続得点。2Q最後、ナカシマ#14がディフェンスのスティールを得点に繋げるものの、22-39とファイサズが17点の点差をつけて2Q終了。

3Q 後半になりナカシマは#2の3ポイントや1対1からの得点でリズムに乗る一方、ファイサズは得点に苦しみ、形勢は逆転。疲れが見え始めたファイサズはファウルも重なる。開始4分半、ナカシマ#10のゴール下が決まり35-42と7点差に詰め寄られるとファイサズはたまたまタイムアウト。ファイサズは#25と#1の3ポイントを沈めるが、ナカシマも#2のバスケットカウントや#10の速攻で勢いを緩めず、3Q後半は一進一退の攻防となり49-45とナカシマが4点差にまで詰め寄り3Q終了。

4Q 序盤はナカシマが#2にボールを集め攻撃のリズムを掴む。開始7分、ナカシマ#99が3ポイントを沈めると51-51とついに同点に追いつく。ファイサズはタイムアウトで修正を図るが、シュートがリングに嫌われナカシマの勢いを止めることができない。ナカシマは#10のドライブや#2のオフENSリバウンドからの得点などで逆転に成功すると一気に試合の流れを掴み、残り3分には#99がステールからの速攻で55-66と10点リード。ファイサズはタイムアウト後に#35の3ポイントや、#18の1対1からの得点で食らいつくが、最後にはナカシマが時間を上手く使いながらゲームをコントロールし、70-60でナカシマが優勝した。

